

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成29年 9月19日 午前10時50分 開会 午後 0時09分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	関 威國 竹内恵美子 清田文雄 吉川重雄 三澤龍夫 片野哲生 高橋英俊 奥津勝子 二宮加寿子 坂田よう子 玉虫志保実 鈴木京子 渡辺順子 柴崎 茂
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 野島教育長 和田政策総務部長 仲手川教育部長 宮代学校教育課長 山口副課長兼教育指導係長 齋藤総務課長
5 職務のため 出席した職員	局 長 大槻直行 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 中学校スクールランチ異物混入について (2) その他
7 その他	一般傍聴 2人

(1) 町報告事項

①中学校スクールランチ異物混入について

平成 29 年大磯町議会 9 月定例会一般質問において、「中学校給食」を質問し、その件について新聞、テレビ等の各メディアに大きく取り上げられた。

そのことから、平成 28 年度決算特別委員会の第 3 日目を中断し、臨時の議員全員協議会を開催し、中学校給食の対応策や異物混入の件も含め、状況の確認等を行った。

◎主な質疑

問：中学生が給食を食べられない状況が全国的にマスコミを通して伝わっている。一番悩んでいるのは中学生である。中学生に対して安全な給食を提供するため、明日からどのように対応するのか。

答：昨日、臨時教育委員会を開催し、一連の報道に係る内容等の説明、問題点等の説明を行った。

また、明日からの給食については、家庭への影響もあり、全食の写真撮影等を行い、予定どおり実施する考えでいる。

答：異物混入に関しては、全部で 84 件。うち工場内での混入が明らかに判明したものが 15 件である。84 件の内訳は、毛髪が 39 件、繊維が 14 件、虫 7 件、衛生害虫 3 件、植物 1 件、ビニール片 4 件、プラスチック片 4 件、金属片 1 件、その他 11 件となっている。

また、年度別件数については、平成 27 年度（平成 28 年 1 月から 3 月 2 日）が 40 件、うち工場内での混入が明らかとなったものが 5 件。平成 28 年度は 32 件、うち工場内での混入が明らかになったものが 10 件。平成 29 年度は 12 件、うち工場内で混入が明らかになったものは無い状況である。

なお、その他の 11 件については、原料由来物質等で検査確認の結果、試食しても問題の無いものが 8 件、副菜の食数不足が 1 件、カレー粉が溶けていなかったもの 1 件、牛乳の不足が 1 件である。

今後の対応については、事業者に対して、衛生管理基準等の遵守徹底を改めて指導する。さらに、最終点検を兼ね、全食の写真を記録させる。合わせて、衛生環境を含め、安全策の実施について理解されるよう努力する。

今回の報道等を受けて、スクールランチを食べられない子どものために、弁当の持参等、柔軟な対応をするべく、明日、保護者や教員に通知を出す予定で準備を進めている。

問：異物の混入があった場合、誰がどのように報告するのか。事業者は工場内での混入があった場合、保健所に届け出ているのか。

答：担任なり学校で確認した上で、町の職員が現場で確認している。事業者明らかに非があるというものについては、管轄する厚木の保健

所に届け出ているという報告を受けている。

問：保健所に届け出た後はどうなったのか。

答：確認が今、取れていない。確認し、後程お答えしたい。

問：異物の混入等について、なぜ今まで報告をしてこなかったのか。

答：平成 29 年の 6 月議会における一般質問で件数報告をしたという判断をしてしまった。

問：聞かれないと報告しないという体質に不信感の大元がある。これから全く異物混入が報告されないようにできるのか。

答：工場内での衛生管理、基準体制を重視していただく。原材料の異物確認も再度徹底していただく。

さらに、子供たちと保護者に調理現場に対する不信感を払拭する努力が必要だと考えている。

また、校長とも連絡を取りながら、子どもたちへの配慮を徹底してまいりたい。

問：平成 29 年 3 月 23 日の木曜日にエンゼルフーズの社長が来庁しているが、教育委員会は承知しているか。

答：教育委員会も同席し、その時点での課題について、指導等をしたと聞いている。

問：その後、何も起きずに来たか。

答：今年度に入って大磯中学校から 12 件の異物混入の報告があった。

問：明日から異物混入が絶対に起こりませんと自信を持って言えるか。

答：今年度の異物混入については、混入経路が特定できず非常に苦慮している。

問：昨日、休日の中で行われた臨時の教育委員会において、明日のスクールランチの実施、その後のお知らせ通知という段取りについて、何か意見は出なかったのか。

議会も決算特別委員会を中断し、臨時の議員全員協議会を開催し、安全面を考慮している。今日中に対応できることがあるのではないかと。

答：既に発注済みのものでもあり、休日の中で、急な連絡や家庭での対応もある。あまり急激な動きというものは、かえって混乱を招くと考える。学校での対応を見守っていただきたい。

問：明日は汁物を初めて提供するということだが、どのように提供するのか。

答：工場から食缶に入れ各教室へ運び、担任が発砲スチロール容器による。担任は三角巾、マスク、エプロンを用意する。

問：工夫しながら給食を続けて行くということだが、残食率等が変わらない状況になった場合、事業者を変えるといったことは考えないのか。

答：この場で明快な回答は難しい。その時点での検討になるかと思う。

問：事業者として、15 件の異物混入という事故を起こしたことに対して指名停止等の対応を協議しなかったのか。

答：事業者を呼んで、町長、教育委員会で直接指導した経過がある。工場内では存在しない物が混入していたこともあったので、教育現場として非常に苦慮している。給食に対する不信感を取り除く努力をしていく。

問：今回の異物混入の件は、契約解除にあたる内容ではないのか。

答：衛生管理基準などに違反した行為や重大な瑕疵があった場合は契約解除できる。

問：給食を食べられない子どもがいる以上、弁当持参などの対応をするべき。

答：弁当の持参など、柔軟に対応していきたい。

問：税金を使っている以上、子どもが安心して食べられるようにしてほしい。

答：事業者も反省する面は反省し、異物混入ゼロまで努力してもらう。臨時の議員全員協議会での議論は、事業者に口頭申し伝える。

問：この事業者の工場内に異物混入センサーは設置されているか。

答：金属探知機は導入されているが、異物混入センサーについては確認していない。

問：スクールランチの導入時から異物混入があった。町の危機管理意識が足りなかったと感じる。大いに反省して欲しい。

答：導入時に不手際が続いたことに対する対応に問題があったと教育委員会として非常に反省している。今後遅ればせながら、きっちりとした対応を図ってまいりたい。